産業廃棄物の一連の処理の行程　（R5年4月～R6年3月）

2024年12月12日
秦野金属株式会社

受け入れ

・廃プラスチック類
816t（33.9%）
・木くず
173t（7.2%）
・金属くず
1,149t（47.7%）
・ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
13t（0.5%）
・がれき類
246t（10.2%）

計2,397t（99.5%）

選別・破砕
2,397t（99.5%）

処理委託			
・Ａ社（代替燃料化）	93.2	t	（ 3.6% ）
・Ｂ社（代替燃料化）	60.2	t	（ 2.3% ）
・Ｃ社（代替燃料化）	205.2	t	（ 7.9% ）
・Ｄ社（代替燃料化）	98.9	t	（ 3.8% ）
・Ｅ社（ｶﾞﾗｽ原料化）	0.8	t	（ 0.0% ）
・Ｆ社（石膏ボード原料化）	15.0	t	（ 0.6% ）
・Ｇ社（建設資材化）	298.0	t	（ 11.4% ）
・安定型処分（１社）	250.4	t	（ 9.6% ）
・管理型処分（１社）	0.0	t	（ 0.0% ）

処理委託（サーマル焼却）			
・Ｈ社＆Ｉ社	216.3	t	（ 0.0% ）

二次処分計　1244.7 t （ 48% ）

売却			
・製鉄原料化	1090.1	t	（ 41.9% ）
・非鉄原料化	171.5	t	（ 6.6% ）
・プラスチック原料化	97.7	t	（ 3.8% ）
・ガラス原料化	0.0	t	（ 0.0% ）

原料計　1359.4 t （ 52.2% ）

・水銀使用製品産業廃棄物
（蛍光灯、水銀灯）
12.2t（0.51%）

破砕
12.2t（0.51%）

処理委託（焙焼）			
・J社	6.71	t	（ 0.3% ）

受入量　2,409t（100.0%）

処理前保管量：　30.0t
処理後保管量：　30.0t

持出量　2604 t （ 100% ）